

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課
1 2-1	支援を受けたことにより育児の不安が軽減されたと答えた割合が100%となっているが、支援につながっていない人はいないのか？	妊娠期からの切れ目ない支援にむけて、母子健康手帳交付時の面接や妊娠8か月頃アンケート、出産後の家庭訪問（乳児全戸訪問）、3か月児健康診査などすべての方の状況把握を実施しています。これらの事業において把握した何らかの課題や悩みを抱えている方に対して支援を行っています。	保健福祉課（保健福祉）
2 2-1	「支援を受けたことにより育児の不安が軽減された」と答えた割合が100%であることは、区の取組みが効果あるものであったと感じます。	ご意見ありがとうございます。 引き続き、取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
3 2-1	(リアルケアベビーについて) 子育ての孤立化を防ぐことを目的とする講座であるが、受講者が「子育てに対する自信がついた」と回答することが孤立化を防いだと言えるのか？	「リアルベビーで育児体験」講座においては、毎回、講座終了後に、講座の内容を評価するためにアンケートを実施しています。 アンケートの中で、「講座に参加して子育てに対する自信がついたか」の質問を設け、参加者に回答いただくことで、子育て家庭の孤立化を防ぐことを目的とする本事業の実績を評価する材料の一つとしています。 具体的には、講座の参加者が、正しい知識や経験を積み「子育てに自信を持つ」ことにより、子育てへの積極性が高まるものと考えます。その結果、みんなで子育てしようという機運を高めることにつながり、孤立化を防止することができると考えています。	保健福祉課（子育て・教育）
4 2-1	母子手帳交付時に全員に面接し、地域担当の保健師を紹介してもらえると、育児不安を取り除く子育て支援につながる大切な事業だと思います。 さらに細かい対応を望みます。 民生委員として、産まれて1か月のシングルマザーを訪問した時、担当の保健師さんの話をするとちゃんと名前を覚えていました。保健師さんが訪問してくれたことをとても喜んでいました。 金銭的な支援や物質面も大切な子育て支援だと思いますが、やはり人と人とのコミュニケーションが大切だと思います。 保健師さんも支援を充実させようとするとお仕事が確実に増えていくわけですから、そこは丁寧な支援ができるよう十分な人員の確保をお願いしたいです。	地域を担当する保健師へのご意見ありがとうございます。励みになります。 今後もコミュニケーションを大切に区民に寄り添った支援にむけて、保健師活動に取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
5 2-1 2-2	子育て応援事業について、不安を抱えた人への支援としては、今後有効な活用を期待する。 支援が届きにくいところへは経営課題2-2の支援を。	子育て応援事業については、子育て家庭の孤立化を防止し、地域で安心して子育てできるよう、引き続き事業を継続してまいります。 また、必要に応じて個別支援やこどもサポートネット事業等と連携し、効果的な支援に努めてまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
6 2-2	必要な支援につなげなかった19ケースはマンパワー不足だけなのか？他の理由はないのか？	こどもサポートネットに関しては、一時的に欠員が生じていたことから、マンパワーが不足し、学校との連携等事業の円滑な運営ができず、年度内に必要な支援につなげることができなかつたもので、事業担当としては、マンパワー不足が要因であると考えています。 なお、当該19ケースは、年度が変わり欠員が解消されて以降、順次必要な支援につなげています。	保健福祉課（子育て・教育）
7 2-2	支援を必要とする子どもに必要なものが届くようにするために人員の増加が望ましい。	人員につきましては、現在の限られた人員の中で、学校と連携しながら、支援を要する子どもに引き続き対応してまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
8 2-2	必要な支援につなげなかったケースが19ケースでマンパワー不足途中に発生によるものであれば、今後どのように対応するようにするのか？	スクールソーシャルワーカーは関係局が採用事務を担っていることから、欠員が発生した場合には早急に手続きが行われ、適切な人材を確保できるよう依頼するなど、マンパワーの早期の確保に努めています。	保健福祉課（子育て・教育）

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課
9 2-2	総合支援体制とするには、連合、社協、地活、民生、保護司などの全体会議をするべきだと思う。	<p>東淀川区では、子ども、青少年の育成を図るため、次代を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備に向け、「東淀川区青少年育成推進会議」を構成しています。地域振興会、社会福祉協議会、各地域活動協議会、民生委員児童委員協議会、保護司会等の関係各種団体の代表者のほか、関係機関、学校、行政機関等を構成員としています。</p> <p>また、児童虐待に関する情報交換並びに関係機関の連携協力の推進に関する協議等を行うため、「東淀川区要保護児童対策地域協議会を設置しています。区役所、警察署、消防署、小中学校、市立保育所等の行政機関、区社会福祉協議会、医師会、歯科医師会、助産師会等により構成されています。</p> <p>また、世帯に複合的な課題がある場合には、様々な分野の相談支援機関等が一堂に会し、世帯全体の支援方針を検討・共有し、支援にあたっての役割分担を明確にするための場「総合的な支援調整の場（つながる場）」の開催も可能です。</p>	保健福祉課（子育て・教育） 保健福祉課（保健福祉）
10 2-2	親が精神的にしんどくて保護をうけているが子どもがヤングケアラーとなっている自覚がなく学校も遅刻しがちといった健やかな環境ではないけど緊迫した状況ではない場合の対処は？	<p>区役所が「ヤングケアラー」の情報を把握するケースとしては、関係機関から相談があった場合や、こどもサポートネットにより学校経由での情報を把握する場合などがあります。いずれのケースも、より詳細な情報を収集して現状を分析し、対応策を検討しています。</p> <p>その結果、適切な関係機関につないだり、関係機関とともに継続して見守りを行うなどの対応を行っています。</p>	保健福祉課（子育て・教育）
11 2-3	アンケートの回答者の各事業の認知度が低かった理由は何でしょうか？	区民アンケートは、毎年、無作為抽出した20歳以上の東淀川区民2,000名に回答を依頼して、幅広い年齢層のさまざまな方に回答いただいており、子育てと直接的な関わりが少ない年齢層等も含んでいることが、認知度の低さの一因と考えています。各事業の効果を高めるためには、年齢層を問わずに広く周知されていることが重要であると考えており、引き続き、区HP・広報紙・LINEやX等の広報手段を活用するとともに、区政会議を通じて、委員の皆さんにも事業の内容や効果についてご理解・認識していただくことができるよう、努めてまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
12 2-3	アンケートの回答者の認知度が低いとあるが、その対応策は？ 区政会議を見ても出席率が悪く、委員の皆さんが地域で情報発信が出来ているのか疑問に感じる。	<p>区政会議については、出席率向上に向けた運営改善を引き続き行うとともに、地活協にも委員推薦依頼の際にお願いしていますが、区政会議前後での地域での委員との話し合いについて継続してお願いしていきます。</p>	保健福祉課（子育て・教育） 総務課（総合企画）
13 2-3	(ゲストティーチャー派遣事業について) 「自尊感情の向上」何故これを事業趣旨としているのか？	児童生徒の自尊感情の向上を図ることにより、自らをかけがえのない大切な存在と実感でき、他者を思いやる気持ちを育むことができるため、心身の健やかな成長並びに子どもの問題行動の抑制を促すことにつながると考え、事業趣旨としています。	保健福祉課（子育て・教育）
14 2-3	「自尊感情」向上のための施策の推進は、家庭・地域と連携することでより効果が期待されると感じます。	令和7年度から「ゲストティーチャー派遣事業」を各校がテーマ・講師を設定できるように変更し、地域や家庭のニーズに応じた講座を実施可能としていますので、地域や家庭と連携することで、より高い効果を生み出すことができると考えます。各校には、講座の企画立案の一助となるようご意見の趣旨を伝えてまいります。	保健福祉課（子育て・教育）

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課
15 2-3	こどもをとりまく課題について、ゲストティーチャーのテーマに広がりがあるとよい。	「ゲストティーチャー派遣事業」は平成27年度から始めており、毎年、学校の意見等を聞きながら、その時々の学校のニーズに対応してきました。近年、学校のニーズも多様化したことから、現在の子どもたちの実情と課題にあった内容で実施することができるよう、令和7年度から、各小中学校が講座の対象やテーマを企画・実施する方法へ変更しました。	保健福祉課（子育て・教育）
16 2-3	ゲストティーチャー派遣事業について、いのちと性、情報モラルだけではなく、夢を描ける未来に期待するゲストティーチャーでもよいのではないか？	したがって、ご指摘の「夢を描ける未来に期待するゲストティーチャー」の講座も実施可能であり、自尊感情の向上も期待できると考えます。	保健福祉課（子育て・教育）
17 2-3	令和5年度までのゲストティーチャー派遣事業では、その授業内容が保護者や区民に開示されない仕様となっており、その授業を受けた児童生徒からの授業内容へ不信感に保護者が対応することが困難な現状がありました。令和6年度では委託事業者がYouTube閲覧などをを利用して保護者が授業内容を共有することが比較的容易になったと伺っていますが、その授業を受ける児童生徒の保護者だけでなく広く区民に授業内容が共有される仕様であることを望みます。でなければ、区政委員はこの事業の成果を何も理解できないまま評価することになります。 引き続き、今年度からの新しいシステムでのゲストティーチャー派遣事業では、児童生徒達が受講したその授業のコンセプトや目的、授業内容そのものを保護者や区民が共有できる仕様であるのかどうかについてお聞きしたい。	令和6年度の委託事業者によるユーチューブによる情報の提供は、契約の仕様として講座の内容を公開したものではなく、事業者が、スマホやパソコンを使うときに気をつけるべきことを、東淀川区の小・中学生とその家庭を対象としてYouTubeに自主的に限定公開されたものです。 令和7年度は委託契約ではなく、講師を学校が直接依頼する手法により実施しており、ユーチューブ等での公表を義務付けるものではありませんが、講座の目的や概要等については、引き続き、依頼に応じて情報提供してまいります。	保健福祉課（子育て・教育）
18 2-3	小・中学校の現状等、幹事校長・教頭に勉強会で話をしていただきたい（区教育会議）	貴重なご意見をありがとうございます。 委員の皆様がどのようなテーマや内容での勉強会を希望されているのかを把握しつつ、必要に応じて、小・中学校の幹事校長等と相談しながら、実のある勉強会の開催に向け、検討いたします。	保健福祉課（子育て・教育）
19 3-1	地域福祉コーディネーターの知名度があがっているように思う。	貴重なご意見ありがとうございます。地域福祉コーディネーターは、地域福祉コーディネーター連絡会で福祉分野における専門的かつ高度な知識やノウハウについての習得に努めるとともに、社会福祉協議会と連携・相談し、見守り相談室のコミュニティソーシャルワーカー等から個々のケースを通してタイムリーに助言・指導を受けています。引き続き連携体制を強化するとともに、身近で相談でき、地域住民のお困りごとが解決できるよう取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
20 3-1	地域福祉コーディネーターの皆様の日頃のお取組に感謝いたします。達成率100%にその効果が表れていると思います。	認知症サポーター養成講座や「ちーむオレンジサポーター」の育成を強化型地域包括支援センターが実施しており、区民の方に受講していただいています。引き続き認知症への正しい理解を深めるための啓発活動を継続してまいります。 *「ちーむオレンジサポーター」とは、認知症の人やその家族を支援し共に活動する人のことを指します。	保健福祉課（保健福祉）
21 3-1	認知症の早期発見、認知症への正しい理解を深めるための啓発活動を継続していただきたい。	地域福祉コーディネーター事業は東淀川区社会福祉協議会に委託して実施しています。東淡路地域の地域福祉コーディネーターが欠員となっていましたが、令和7年6月に配置されました。引き続き東淀川区社会福祉協議会と連携し、身近で相談でき、地域住民のお困りごとが解決できる体制の整備に取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
22 3-1	東淡路地域では、地域コーディネーターが新しく決まりました。	地域福祉コーディネーターとして「社会福祉に関して理解と情熱があり、地域活動やボランティア活動に関する専門性や経験のある方」を求めており、年齢要件は設けていません。ご意見を今後の運営の参考にさせていただき、東淀川区社会福祉協議会と連携し、身近で相談でき、地域住民のお困りごとが解決できる体制の整備に取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
23 3-1	地域福祉コーディネーターの年齢が高いように感じる。いろいろな世代にお願いできたら相談しやすくなるのでは？	保健福祉課（保健福祉）	

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課
24 3-1	地域福祉コーディネーターさんの存在が少しづつ認識され始めたことを感じます。令和6年8月号の広報紙の特集記事は、地域福祉コーディネーターのことと、広報誌で大きく取り上げていたことは印象に残っています。 写真入りで、見覚えのある方が載っていたので話題になりました。 写真入りで地域のコーディネーターを紹介する機会を増やすことが大切だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。地域福祉コーディネーターの紹介や活動について、今年度も「広報ひがしよどがわ（令和7年7月号）」に特集記事を掲載して広く周知しました。また、周知用チラシを作成し、各地域でのイベント開催時にチラシを配布するなど、引き続き広く地域の方に知っていたく機会を増やし、地域の皆さまが気軽に相談できるよう周知に努めてまいります。 また、地域福祉コーディネーターは地域事情に精通していることを要件としており、多くが地域住民の方に担っていただいているため、住民とのつながりがある方が多いと考えております。今後も東淀川区社会福祉協議会の見守り相談室と地域福祉コーディネーターが連携し、見守りが必要な方の見守りや声掛けを実施し、必要な方を相談につなげるよう努めてまいります。	保健福祉課（保健福祉）
25 3-1	地域コーディネーターが住民とのつながりを持つ機会が少なく、相談につながってない気がする。		保健福祉課（保健福祉）
26 3-2	地域福祉計画について、令和8年度までに見込みが立ったとあるが、地域差があり社会福祉協議会やコーディネーターから一度も話がない地域もあるようだが？	地域別保健福祉計画の策定につきましては、東淀川区社会福祉協議会と連携しながら進めています。令和7年6月現在、地域別保健福祉計画を策定済みの地域は11地域ですが、令和8年度末までに全地域で地域別保健福祉計画を策定するため、全地域において、地域福祉コーディネーターが地域の強みや弱み等についてのアセスメントを実施しています。また、地域別保健福祉計画策定推進サポーターが地域と東淀川区社会福祉協議会、区役所等との連携の支援、未策定の地域への策定のための支援及び策定済みの地域には見直しのための支援を強化します。引き続き、地域課及び東淀川区社会福祉協議会と連携しながら、地域内の機運の醸成に努めてまいります。	保健福祉課（保健福祉）
27 3-2	地域別保健福祉計画の作成が進行していない。なぜこんなに時間がかかるのか？地域に聞いているか？解決しないのか？		保健福祉課（保健福祉）
28 3-2	個別避難計画の進捗状況について、他区と比較した数値をお示し下さい。	当区では、個人情報の提供について本人同意が得られた東淀川区の要援護者の全員を対象として、令和8年度末までに個別避難計画の作成をいただけるよう取り組みを進めており、現在の進捗率は約14%（対象者総数約4,300人）の状況です。他区の進捗状況は把握しておりません。	地域課（安全まちづくり）
29 3-2	防災・減災の意味でも、災害時にも活かせる見守りネットワークの構築は大切と感じました。	貴重なご意見ありがとうございます。引き続き、地域別保健福祉計画の策定を通じ、地域の課題を地域で解決する地域力の向上、地域住民による地域における災害時にも活かせる見守りネットワークの構築につながるよう、引き続き、地域課及び東淀川区社会福祉協議会と連携し、支援に努めてまいります。	保健福祉課（保健福祉）
30 3-2	人材を探すのが大変です。人とのつながりが課題。	ご意見として頂戴させていただきます。	保健福祉課（保健福祉）
31 3-2	個別避難計画の作成の支援・テコ入れについて、防災士などの力も使う必要があるのでは？ また町会単位などなるべく小さい単位での作成や福祉事業者との協力関係づくりが必要ではないか？ 個別避難計画をテーマに区政会議の勉強会ができるないか？	ご意見をいただきました個別避難計画の作成を進めるうえでの、防災士との連携、町会単位などの作成や福祉事業者との協力関係づくりは、とても重要な課題と認識しております。当区では昨年度から、福祉避難所や訪問看護事業等、福祉サービス関係機関と連携した個別避難計画作成支援の取り組みを始めたところであります。今後より具体化が図れるよう取り組みを進めてまいります。また、個別避難計画については、これまで要請いただいた地域、福祉団体等にて勉強会を開催しております。区政会議の勉強会のテーマへの同計画の組み入れについては、ご意見の趣旨に沿うよう関係部署と協議してまいります。	地域課（安全まちづくり）
32 3-3	アンケートで「区役所の各窓口で様々な困りごとを相談できることを知っている」と51.4%が答えているが、アンケートで相談したい困りごとを聞いてみるのはどうか？	区役所の各窓口でのアンケートは行っていませんが、くらしのみのり相談窓口で利用者アンケートを実施しています。 アンケートでは、相談窓口をどこで知ったかのほか、どのような相談内容が多いなど、支援の状況や対象者の傾向を分析しています。今後も市民サービスの向上と皆様の役に立つ支援に努めてまいります。	保健福祉課（保健福祉）

【当日出された意見等】

経営課題	意見内容	回答	担当課
33 3-4	健康づくりについて、専業主婦などに検診の機会が広く届くようにしたい。	大阪市東淀川区で実施している令和7年度がん検診（大腸がん・肺がん・乳がん検診）・骨粗しょう症検診につきましては、年18回、保健福祉センター（区役所2階）、かみしんプラザ等で実施しています。時間帯につきましては、平日の午前中、土日の午前・午後で実施し、乳がん検診・骨粗しょう症検診に限り夜間帯（18:30～19:50）で実施しています。このほか、区内取扱医療機関においても「大阪市実施のがん検診」と申し出のうえ、予約し受診していただくことが可能です。今後も、大阪市がん検診受診者数の増加に向けて広く市民に受診啓発を行い、健康局とも連携しつつ、予約なしがん検診の実施など、さらなる取り組みを進めてまいります。	保健福祉課（保健福祉）
34 3-4	百歳体操について、開催場所の減少のアウトカム指標はいらないのでは？ また、後継者不足について、区役所の支援は？ 地域活動協議会の事業であるところも多いので地域課からの支援もいただきたい。	アウトカム指標について次年度に向けて検討してまいります。大阪市全体としても、後継者不足が課題となっています。百歳体操を担当する福祉局より、今後、リーダー養成や関係機関と連携したグループ支援等にかかる各区の好事例を集約する予定と聞いております。当区でも好事例を参考に取り組みを進めてまいりたいと考えています。	保健福祉課（保健福祉）
35 3-4	いきいき百歳体操の開催場所の数は減っているくなっているが、積極的に取組まれて認知度も高いと感じる。	貴重なご意見ありがとうございます。 引き続き、周知啓発に取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
36 3-4	健康増進施設が増えており、区民の健康への関心は高いと思います。様々な世代が参加できるイベント実施は需要があると思います。	令和7年10月中旬に「みんなの健康展」の開催を予定しており、東淀川区創設100周年記念事業と位置づけ様々な世代が参加できる内容を検討しております。今後も区民の健康寿命延伸をめざして取り組んでまいります。	保健福祉課（保健福祉）
37 3-4	100歳体操について、何かの行事のついでにやりたい人が多いと思うので、行事の後に行うとかはできないか？	百歳体操は週1～2回定期的に実施することで効果がある体操ですので、ふれあい喫茶等週1回以上開催されている場合は、その前後に実施していただくことは可能です。今後も引き続き、百歳体操サポーターと協働・連携しながら周知してまいります。	保健福祉課（保健福祉）
38 3-4	100歳体操の場所について、大学や企業の部屋を使わせてもらうことはできないか？	百歳体操は住民主体の取り組みとなっています。他区では地域の会館のみならず高齢者施設、葬祭施設、寺院、銭湯等、様々な場所で実施されていますので地域住民の方々へ貸していただける施設であれば大学・企業も可能であると考えています。新たに開催を検討されている場合は、健康相談の保健師が立ち上げ支援を行っていますので、ご相談ください。	保健福祉課（保健福祉）
39 3-4	いきいき百歳体操の開催場所や再開が困難であった理由にリーダー不足等があるとあり、今後も課題が継続しそうである。	大阪市全体としても、後継者不足が課題となっています。百歳体操を担当する福祉局より、今後、リーダー養成や関係機関と連携したグループ支援等にかかる各区の好事例を集約する予定と聞いております。当区でも好事例を参考に取り組みを進めてまいりたいと考えています。	保健福祉課（保健福祉）
40 3-4	発表であった「予約なしがん検診」の実施により、今まで受診できなかった方の受診が増えることを期待している。	参議院議員通常選挙の期日前投票期間中である令和7年7月19日（土）に期日前投票で区役所に来所された方が、予約なしで気軽にがん検診を受けていただけるよう大阪市健康局と連携して予約なしがん検診・骨粗しょう症検診を実施しました（予約なし受診実績：乳がん検診2件、肺がん検診2件、骨粗しょう症検診9人）。	保健福祉課（保健福祉）
41 全体	令和6年度の運営方針の自己評価、令和7年度の案など、いつも同じ意見を書いているように思う。	引き続き、委員の皆様のご意見を踏まえた改善に努めていきたいと考えています。	保健福祉課（子育て・教育） 保健福祉課（保健福祉）